

沖縄のこれから

皆様のご意見をお聞かせください

沖縄のくらしや旅行のありたい姿と、
そのための交通の姿



～美ら島の未来を拓く～
内閣府沖縄総合事務局



1 今回のパブリックインボルブメントについて

「沖縄のありたい姿を実現するための取り組み」について、皆様の声をお聞かせください。

○沖縄では、通勤・送迎・買い物・仕事など、自家用車前提のライフスタイルが深く根付き、これまでの経済成長を支えてきました。

一方で、そのライフスタイルが、慢性的な渋滞の発生・運輸部門のCO₂排出増加など、生活、社会、経済の質を低下させる要因ともなりつつあります。

○今後、持続可能なくらしや旅行、それを支える交通環境をつくっていくためには、地域の住まう方や訪れる方とともに、ライフスタイルや旅行のあり方を含めたトータルでの交通サービスの再デザインに取り組むことが求められています。

○今回は、皆様からこれまで頂いたご意見をもとに紡ぎだした沖縄のありたい姿、これを実現するために必要な考えられる取組の方向性を提示させていただき、インタビューやアンケートなどを通じて、皆様のご意見を募集いたします。

○沖縄のこれからのために皆様の声をお聞かせください。

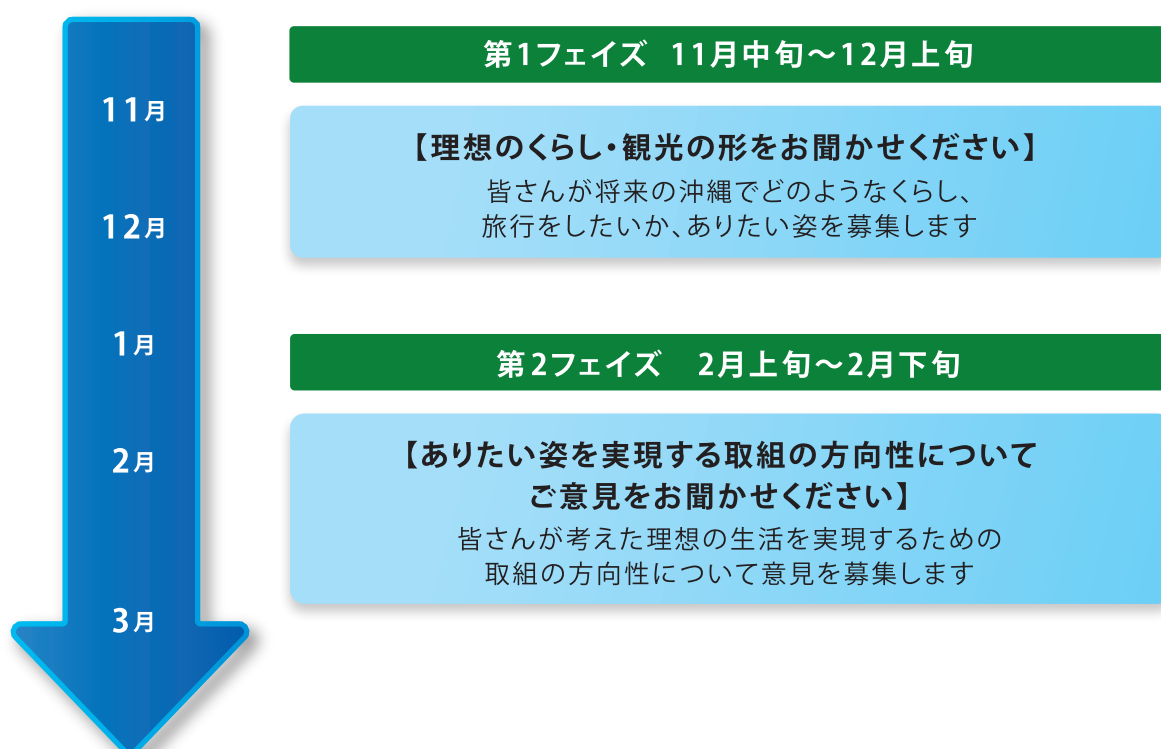


今回は、「ありたい姿」の実現に向けて必要な 取組の方向性について声をお聞かせください。

○皆様のくらしや旅行の質を高める社会・交通環境を実現していくために意見を募集します。
今回は、全2フェイズのご意見募集のうち、第2フェイズとなります。

○第1フェイズでは、現在の社会・交通環境では実現できていないこと、あるいは「本当はこの
ようなくらし・旅行がしたい」といった「ありたい姿」への思いを皆様からたくさんのご意見を
頂きました。皆様のご協力ありがとうございました。

○第2フェイズでは、前回のご意見募集の結果を踏まえて、沖縄のくらしや旅行のありたい姿
の実現に必要な取組の方向性についてご意見を伺い、来年度以降の取組につなげてまいり
ます。



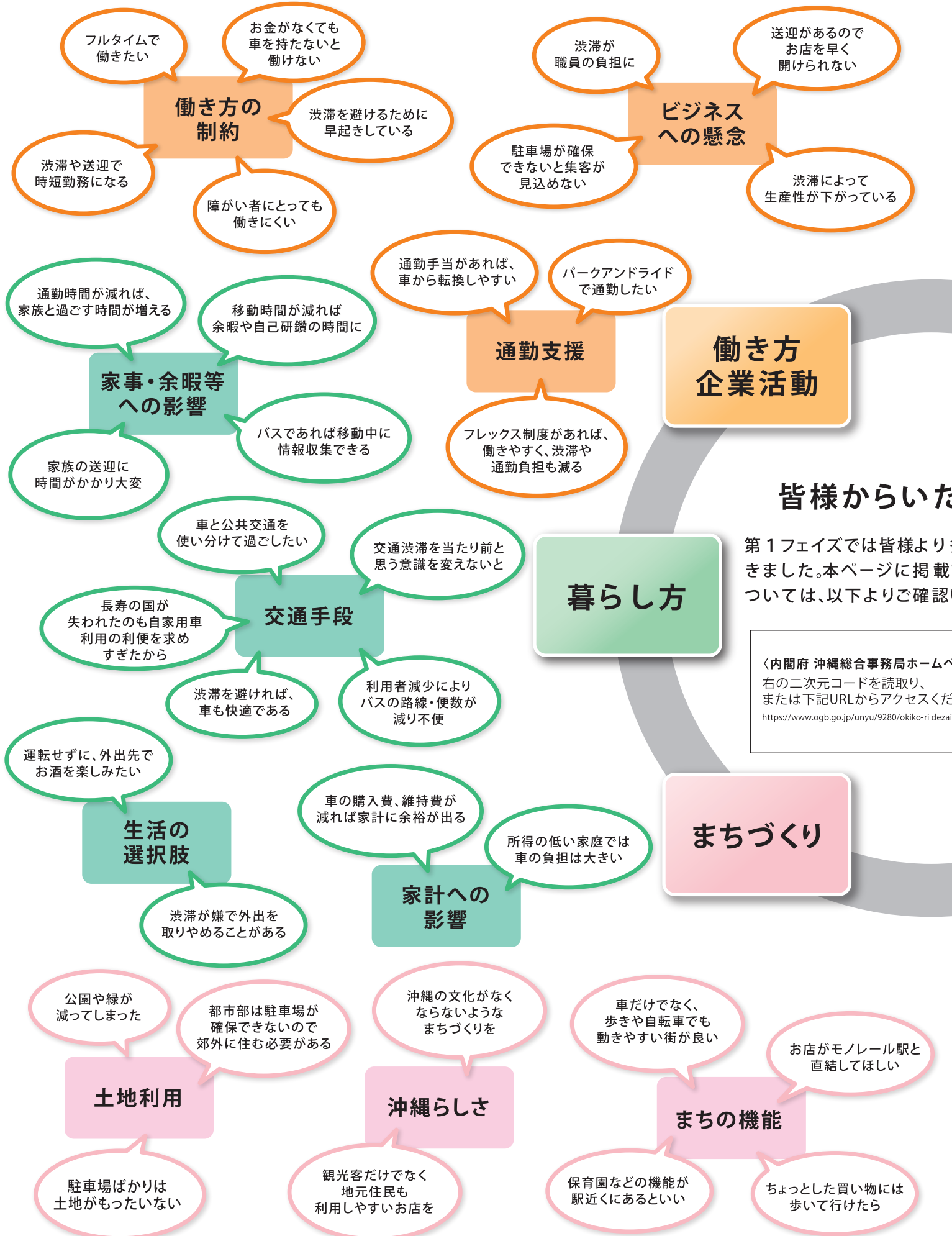
〈内閣府 沖縄総合事務局ホームページ〉

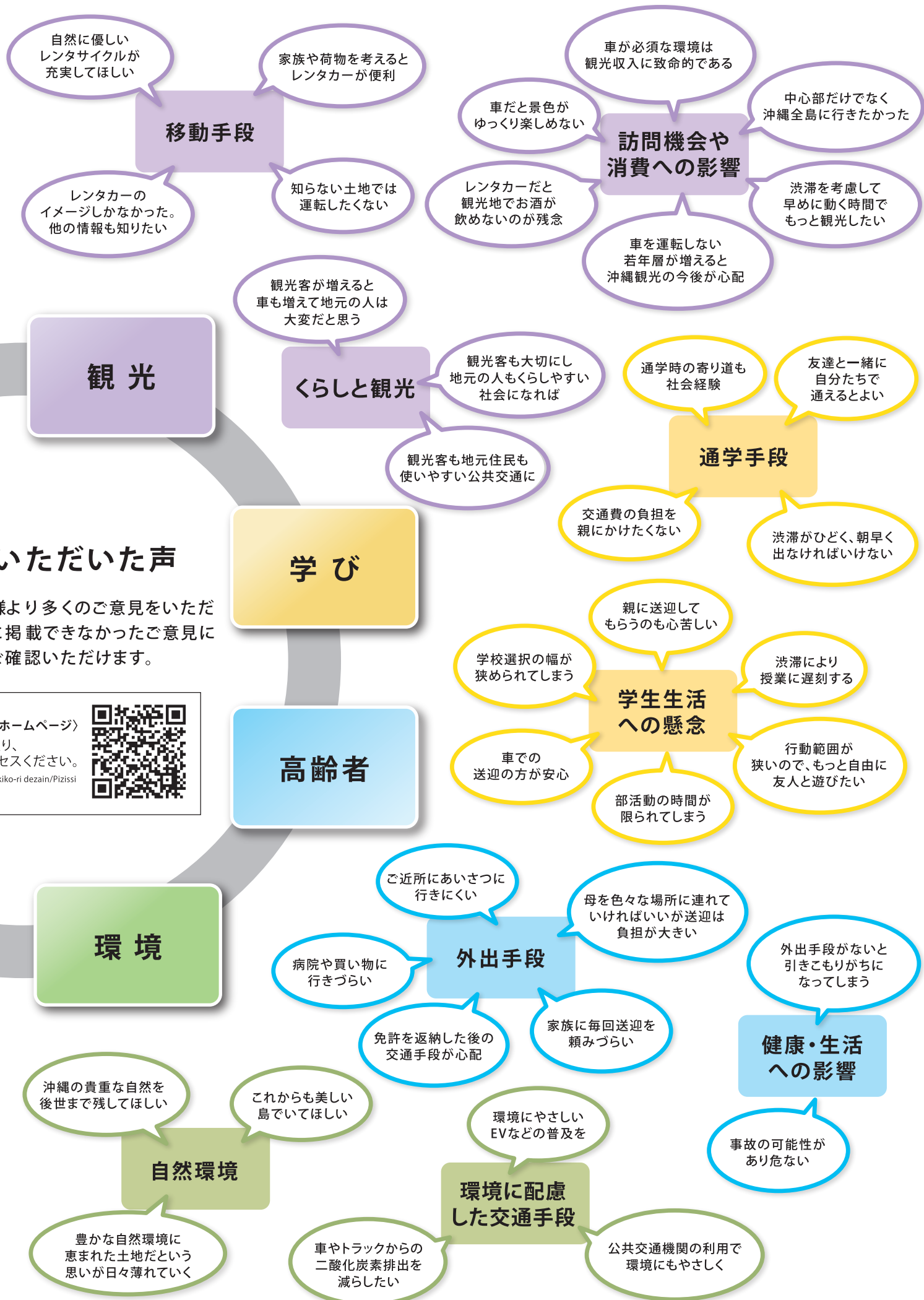
右の二次元コードを読み取り、
または下記URLからアクセスください。

<https://www.ogb.go.jp/unity/9280/okiko-ridezain/Pizissi>



2 パブリックインボルブメント第1フェイズでいただいた声





3 皆様の声を踏まえた「ありがたい姿」

✓受け継いできた沖縄らしさの維持・発展

- ・豊かな自然や家族を思う文化などを残していける
- ・昔ながらのコミュニティや街並みの中で暮らすことができる

✓生活の質の向上

- ・自分や家族との時間を大切にできる/学生が自立して友人とともに経験を積むことができる
- ・高齢者等であっても、人口減少が進む地域であっても送迎や運転に頼らず気軽に外出できる
- ・歩きやすく、緑地や公園が身近にある健康的な暮らしができる

✓県民の所得・実質所得の向上

- ・希望する勤務地、時間で働くことができる/自家用車保有により生じる固定費の負担減少

沖縄らしさの残る
豊かな暮らし・
まちの実現

～持続可能な沖縄社会の構築に向けて～
互いを思いあう、沖縄らしさを体現し、
住まう人、訪れる人にとっての
沖縄の価値を高め次の世代に
引き継いでいく

選ばれる
持続可能な
観光地

沖縄経済の
発展・生産性向上

✓誰もが訪れたい沖縄

- ・沖縄らしいまちや文化が残り、住民や観光客の交流が生まれる
- ・車に乗らないインバウンド客や若年層にも旅行先として選ばれる
- ・環境や社会のサステナビリティに配慮した旅への関心にも対応

✓地域内消費の向上

- ・滞在時間の増加や周遊を通じた訪問・消費機会の増加
- ・地域にお金が落ちる高循環の創出

✓時間損失が少なく、事業効率が高い沖縄

- ・朝夕のラッシュがなくなり、移動が効率化

✓時間や居住地の制約がなく、誰もが担い手となれる沖縄

- ・時短勤務などが減り、人材確保が円滑化

✓環境負荷の少ないサステナブルな企業活動

- ・移動により発生するCO₂排出量が削減
- ・燃料費などのコスト削減に寄与

- 「チムグクル-心からの思いやりの気持ち-」などに代表される沖縄の文化や精神性は、国内はもちろん、世界からも高く評価されています。
- こうした沖縄らしさを継承しつつ、くらしの中で体現し、住まう人、訪れる人にとっての沖縄の価値を高めながら、次の世代に引き継いでいくこと、これが沖縄のありたい姿ではないかと考えます。

沖縄の歴史的・文化的特性

『なかでも、「命どう宝」や「ユイマール（相互扶助）」、「チムグクル（肝心）」、行き逢えば分け隔てなく付き合う「イチャリバチョーデー」など多様な価値の受容、相互扶助といった精神文化が大切に継承されてきました。沖縄の文化の根底に流れる人間中心の精神文化は、SDGsが目指す「誰一人取り残さない社会」とも一致するものです。また、古くは中国や東南アジア諸国等との交易・交流を通じて多くの文化を吸収し調和させ、日本本土とは異なる歴史の中で培われてきた沖縄の文化は、本県が有する人々を惹きつける魅力「ソフトパワー」の要素としても現在に受け継がれています。』

新・沖縄21世紀ビジョン基本計画 より

世界から見た沖縄

沖縄の言葉「ウムイ（思い）」とは

『ウムイとは、日常生活から切り離されたものではありません。肩に触れる手の優しさ、母乳を吸う赤ん坊のリズムの優しさ。親が子を想い、子が親を思う。恋人の愛しい気持ちや誰かが死んだりいなくなった時の深い悲しみ。祖先とのつながりや、生きとし生けるもの、神々への感謝の気持ち。ウムイは沖縄の人々の長寿の源であり、今まで語られることのなかった物語です。』

Umui A Journey Across Okinawa Everett Kennedy Brown より

3で挙げた「ありたい姿」を実現するためには、
どのような方向性が望ましいでしょうか？

A:現在のライフスタイル、 交通環境を維持する

- ✓自家用車移動が中心の社会を継続
- ✓自家用車移動の利便性を維持、確保する取組に注力



自家用車を運転できる方にとっては便利な社会ですが、**運転できない方は移動しにくく、働き方や時間の選択肢が減少します。**観光客にとっても**沖縄の魅力の低下につながります。**
また、**環境負荷も大きく、渋滞が解消されない可能性もあるため、生産性が低下する恐れがあります。**

B:行政等が公共交通の 利用を促進する

- ✓行政や交通事業者が公共交通の利便性向上を図りつつ、利用を働きかけ



一定の交通利便性向上にはつながりますが、**自家用車移動が中心のライフスタイルのままでは、個人や企業の需要と一致しないため、十分な効果が発揮できません。**
また、そうした中では**持続可能な取組とならない恐れがあります。**

C:皆でライフスタイル 自体から変えていく

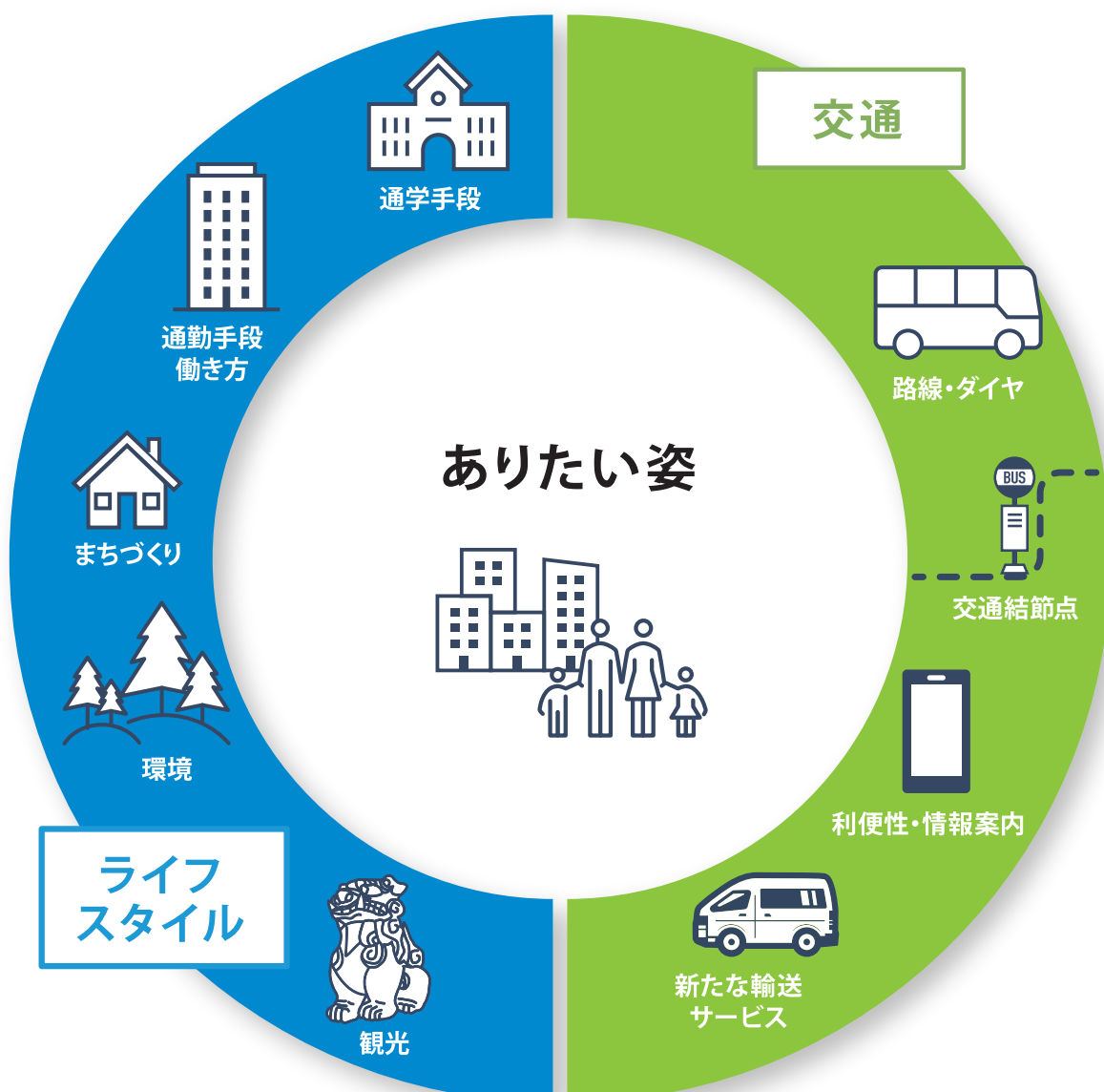
- ✓個人や企業それぞれが自家用車中心のライフスタイルからの転換に向けたアクションを実践
- ✓併せて、公共交通の利便性向上などアクションをしやすい環境づくりを実施



個人、企業の需要、行動と行政、交通事業者の取組が一致することで、取組の効果が最大限発揮できます。
これにより、将来に向けて**環境負荷も軽減**できるほか、**移動の選択肢の増加や渋滞緩和**などにより、**沖縄の魅力の向上や生産性の向上も期待**できます。

「ありたい姿」を実現するためには、
Cの「皆でライフスタイル自体から変えていく」
が必要であると考えます

- 現在、自家用車中心のライフスタイルは、通勤、送迎、買い物、仕事など沖縄社会に深く根付いています。
- ありたい姿を実現していくためには、こうしたライフスタイル自体が変わっていく必要があります。
- このために、私たち一人ひとりはどうようなアクションができるでしょうか。また、社会、交通はそれをどのように支えていくことが期待されるでしょうか。



皆様と行政や経済、金融、観光、教育、エネルギー、交通などの関係者が、一体となって以下のような取組を進めていくことが考えられます。

ライフスタイルの転換

〈通勤を変えていく〉

- ☐ 公共交通や自転車、徒歩などでの通勤を実践してみる
- ☐ 時差出勤やテレワークを実践してみる
- 柔軟な通勤を実現できる環境づくり
(例えば、フレックス制度、ノーマイカーデー、通勤手当など)

〈通学を変えていく〉

- ☐ 公共交通や自転車、徒歩などでの通学を実践してみる
- ☐ 地域の交通課題について考える
- 高校生が送迎に頼らず通学・移動できる環境づくり
(例えば、通学に係る費用の支援、
学生等の公共交通への理解促進 など)

〈観光を変えていく〉

- ☐ 公共交通で観光地を回ってみる
- 観光客へモノレールやバス等を使った沖縄の旅情報の発信

〈モノレールやバスへのイメージを変えていく〉

- ☐ 日常生活の中で公共交通を利用してみる
- 普段、車を使っている方への体験機会の提供
- EVやFCVバス、目を惹くデザインなどの魅力度向上

〈まちづくりを変えていく〉

- ☐ まちづくりワークショップに参加してみる
- 人が集まるまちの拠点形成とそれらをつなぐネットワーク形成
- 歩行者や自転車にやさしいまちづくり

など

■: 一人ひとりのアクションを支えるための行政・事業者・交通事業者の取組

交通サービスの利便性向上

〈住民・観光客も使いやすい交通ネットワークを構築する〉

- 効率的な路線網の構築

- まちと一体となった交通拠点の整備

（例えば、買い物や保育などの日常の用を足せる乗り継ぎ拠点 など）

- デジタル化による利便性の向上

（例えば、観光客も使いやすい決済システムの導入 など）

〈バスやモノレールのサービス水準を向上させる〉

- 通勤通学に合わせたダイヤ・ルートの見直し

- 快適に通勤できる交通サービスの実現

（例えば、パーク＆ライド、通勤利用者向け急行バス など）

- モノレールの混雑緩和

- バス待ち環境の整備や乗継案内の強化

〈送迎に代わる地域内輸送サービスを整備する〉

- 地域の実情に応じたコミュニティバス、乗合サービスなどの導入促進

- 交通不便地域での観光客向け輸送サービスの導入促進

〈新たな技術による交通サービスの維持・向上を図る〉

- 自動運転の導入に向けた実証

など

沖縄のこれからのため、
ぜひ皆様のご意見をお聞かせください。

今回のパブリックインボルブメントについて、
オンラインにてご意見を募集しております。

皆様のご意見をお聞かせください。

〈ご意見募集フォーム〉

以下二次元コードのご意見募集フォームから
ご回答をお願いいたします。



〈内閣府 沖縄総合事務局 パブリックインボルブメント特設ページ〉

今回のパブリックインボルブメントの情報や、
実施中のインタビュー等について掲載しております。



<https://www.ogb.go.jp/nyu/9280/okiko-ridezain/Pizissi>

会場では担当者がご意見を伺います。
上記二次元コードのご意見募集フォームより回答いただくことも可能です。

